

人生を楽しむ手段に――

「創業」は、自分の好きなことや趣味を仕事にするための手段です。創業の今と大切なことについて、市が連携を始めた宮城県よろず支援拠点の佐藤創さんに話を聞きました。

インターネットの普及で 創業しやすい時代に

「創業」と聞くと、難しくて自分にはできないと諦めている人が多いと思います。確かに以前は、創業するために仕事を辞め、資金を集めて法人を設立するといったように、難しいものでした。

現在は、インターネットの普及に伴い、ハードルは一気に低くなりました。例えば、趣味で小物を作ったとしたら、インターネットがあればお金をかけずに販売することができず、誰でも簡単に創業できる時代になったのです。創業したいという人は、何かしたいけどはつきりしない人、何をするかは決まっている人、事業計画を作った人の3段階に分けられます。事業計画を作らないと相談

できないと思っている人もいますが、そうではありません。相談は早いほうがいいのです。

「何をしたいかわからない」 答えは自分の中にある

創業したいけど何をしたいかわからないという場合、答えはその人の中に隠されています。仕事に対する価値観や仕事のキャリアなどを見つけて一緒に考えます。マーケティング、事業計画の作成や資金調達など、どれも大切なことです。専門家に相談しながら進めることでリスクが減り、より良い答えを見つけられると思います。まずはセミナーなどに参加し、分からないことがあればどんなことでも相談することが大切です。

段階を踏みながら前進していけるように全力でサポートします。

無限に広がる可能性 誰にでもチャンスはある

収入を増やすために創業する場合もありますが、私は仕事を楽しくし、人生を豊かにする手段だと考えています。誰にでも、どこにいても、何歳でもチャンスがあります。そして、その可能性は無限に広がっているのです。

宮城県よろず支援拠点
チーフコーディネーター
佐藤 創さん

1977年生まれ。産業能率大学卒。仙台市の情報サービス企業に入社し情報処理システム開発に従事。14年に中小企業診断士として登録し、経営コンサルティング会社クリエイティブファーストを設立する。

このまちで生き、 このまちで活かす

11月1日、移転してリニューアルオープンした珈琲工務店に入ると、お客さんと楽しそうに会話する宇藤さんの姿がありました。店内には笑い声が響き、そこにはにぎわいが生まれていました。

自分のしたいことを仕事にして生活する。それは簡単なことではないかもしれませんが、そのために必要なことは、まず相談してみることです。具体的に考えがまとまっていなくても、頑張ろうとするあなたの味方になり、サポートしてくれる人がたくさんいます。創業しても思い通りにいかず、苦労もあるかもしれませんが、今回取材した人たちは、それ以上に心の豊かさがあると話します。

にぎわいのある場所には人が集まり、新しいアイデアが生まれ、やがては地域の活力につながります。あなたの経験や趣味を活用し、新しい人生の一步を踏み出してみたいかがでしょうか。

